



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「緑の水脈 群馬・利根川流域の美しい自然」 著者：新井幸人 出版：株式会社小学館



本書は群馬県内の利根川流域にスポットを当て、美しい自然について見所・見頃を写真に添えて紹介しています。

利根川は流域面積が日本最大の川となっており、その水は飲料水、水力発電、工業用水と様々な用途に利用され、私たちの生活と切り離せない存在となっています。

その水を命の源として、植物などが群生し群馬の自然を形成しています。本書ではそんな水が成す川や森の役割や群馬における変遷を簡単に解説しています。

景観を考える上で市街地における景観だけが景観ではありません。群馬の豊かな自然景観の美しさを認識することも重要なことです。それは雄大な自然だけでなく、身近なものでもよいと思います。ちょっと違う視点で目に映る景色を見ることが景観を考えることの大きな一歩になると思います。景観に興味を持ったけれど、景観というものがよくわからないという人にとって、景観というものを目で見て感じることでできる一冊になっています。難しいことは考えず、単純に美しいと思った景色、それが良い景観というものなのではないでしょうか。

今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら!



## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

富岡市 都市計画課 古市 早紀



古市 早紀さん(下段右端)



講座の様子

平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けた富岡市都市計画課の古市です。

意見交換の場が苦手だったこともあり講座を受けに行く前は、6日間も講座があるなんてなんて長いのかと思っていましたが、実際に参加してみると学ぶことが多くあっという間の6日間でした。

ファシリテーターには、楽しんで参加できる雰囲気を作ったり、参加者から上手に意見を引き出したり、引き出した意見をまとめたり、時間管理をしたりと様々な役割がありました。1つを意識すると別の役割が欠けてしまい、同時に様々な役割を意識しながらワークショップを進めていくのはとても難しかったです。最初にファシリテーターをしたときは、議論についていくのが精いっぱいですがファシリテーターの役割は全然果たせませんでした。実践形式で何度もワークショップを経験することで少しずつ身につけることが出来たと思います。今後も経験を積んでファシリテーターの技術を磨いていきたいです。

大下先生と事務局の方々の雰囲気作りのおかげで楽しく学べ、他の受講者との繋がりもでき、充実した6日間でした。ありがとうございました!

## マーチィの掲示板

### 国土交通大学校に行ってきました。



群馬県都市計画課都市計画係の大澤です。

2018年9月25日から10月5日までの9日間、東京都小平市の国土交通大学校で「土地利用計画研修」を受講しました。

講義では、人口減少・高齢化が進展する中で、快適な生活環境や持続可能な都市経営を実現するための「コンパクト+ネットワーク」の推進や低未利用地の利用促進など、土地利用や都市計画制度に関する幅広い知識を修得することができました。

また、GISソフトや都市構造可視化を用いた都市構造分析を行い、立地適正化計画策定に向けた方針を作成する班別討議、全体発表を行うゼミナール課題もありました。我々の班は群馬県桐生市について都市構造分析を行い、立地適正化計画の案を作成しました(桐生市の職員はいませんでした)。立地適正化計画策定に向けた、都市構造の分析から計画策定までの実務を実践的に体験することができ、大変参考になりました。

研修には、全国の自治体から60名が参加しており、全国各地から集まった研修員との交流を通して多くのことを学ぶことができました。

私は今年度より都市計画の業務に携わっておりますが、日頃の業務の中で十分理解できていなかった都市計画の法制度や考え方を改めてじっくり勉強することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今回習得した知識をこれからの業務に生かせるように、取り組んでいきたいと思っています。

